

2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月15日
東

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所
コード番号 8254 URL <https://www.saikaya.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山野井 輝夫
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 中野 宏治 (TEL) 046 (822) 8003
定時株主総会開催予定日 2025年11月18日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年11月19日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の連結業績 (2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	4,632	△6.4	114	3.8	135	35.0	110	51.7
2024年8月期	4,950	△4.9	110	△23.3	100	△24.1	72	646.1

(注1) 包括利益 2025年8月期 174百万円 (327.3%) 2024年8月期 40百万円 (—%)

(注2) 2025年8月期 売上高 4,632百万円 : 対前年同期比 93.6%
営業利益 114百万円 : 対前年同期比 103.8%
経常利益 135百万円 : 対前年同期比 135.0%
親会社株主に帰属する当期純利益 110百万円 : 対前年同期比 151.7%

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年8月期	22.26	16.65	15.6	1.1	2.5
2024年8月期	14.67	11.29	12.2	0.8	2.2

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期 —百万円 2024年8月期 —万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	11,894	791	6.7	10.19
2024年8月期	11,806	617	5.2	△25.10

(参考) 自己資本 2025年8月期 791百万円 2024年8月期 617百万円

(注) 1株あたりの純資産額は「期末純資産額 791百万円－期末発行済優先株式発行価額 741百万円＝ 50百万円」を、
期末発行済株式数（自己株式を除く）で除して算出しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年8月期	410	△620	△5	1,434
2024年8月期	259	△390	△3	1,649

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	—	—	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期	—	—	—	—	—	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,300	△2.5	40	△32.9	35	△66.3	30	△69.9	6.06
通 期	4,800	3.6	150	30.7	140	3.2	120	8.8	24.22

(注) 通期 売上高：対前期比 103.6%
営業利益：対前期比 130.7%
経常利益：対前期比 103.2%
親会社株主に帰属する当期純利益：対前期比 108.8%

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ―社(社名) 、除外 ―社(社名)

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年8月期	4,970,314株	2024年8月期	4,970,314株
② 期末自己株式数	2025年8月期	16,306株	2024年8月期	16,230株
③ 期中平均株式数	2025年8月期	4,954,078株	2024年8月期	4,954,124株

発行済株式数に関する注記

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年8月期の個別業績(2024年9月1日～2025年8月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	4,633	△6.2	110	2.3	210	116.2	186	166.8
2024年8月期	4,941	△5.0	107	△22.5	97	△23.2	69	1,458.6
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年8月期	37.64		28.16					
2024年8月期	14.11		10.86					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年8月期	11,765	740	6.29	△0.29
2024年8月期	11,595	489	4.22	△50.96

(参考) 自己資本 2025年8月期 740百万円 2024年8月期 489百万円

2. 2026年8月期の個別業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	2,295	△2.8	38	△33.4	33	△81.8	28	△84.2	17.76
通 期	4,790	3.4	146	32.3	136	△35.3	116	△37.8	23.42

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更に関する注記)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 補足情報	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

さいか屋において、2024年9月25日「ファッションプラザ パシオス」(横須賀店3階)、2024年10月16日「食品スーパー ライフ」(藤沢店地下1階)が開店、2024年11月1日には藤沢店8階レストラン街の一部区画を取得したことに加え、2025年5月23日に「ボンバドウル」(藤沢店1階)が開店、さらに2025年7月18日「ローカスト オフプライスショップ」(横須賀店3階)が開店し、新たな顧客の来店促進に寄与するとともに、継続的なテナント賃料収入がさらに増加いたしました。百貨店ゾーンの活性化として、横須賀店1階に全国の名菓等を厳選した自主運営ショップ「彩華庵」を開店、土用の丑の日では自主運営している飲食店舗である「うなぎの佳川」(横須賀店)、「静岡うなぎ」(藤沢店)のお持ち帰り用うなぎがご好評をいただきました。また、不動産事業では引き続きアパート事業など、着実に収益を上げております。

経費面につきましては、賃貸スペース増加に伴うコスト削減が効果を発揮しており、委託業務の見直し等の推進も含め継続的なローコストオペレーションを実行しております。

以上の結果、当連結会計年度の連結業績につきましては、売上高は4,632百万円(前連結会計年度比93.6%)、営業利益114百万円(前連結会計年度比103.8%)、経常利益135百万円(前連結会計年度比135.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益110百万円(前連結会計年度比151.7%)となり、通期での黒字化を継続いたしました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

①百貨店事業

売上高は4,623百万円(前年同期比93.4%)、営業利益は666百万円(前年同期比94.8%)となりました。

②不動産事業(アパート事業等)

売上高は8百万円、営業損失は2百万円となりました。

なお、不動産事業(アパート事業等)に関しては当連結会計年度より開始しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態に関し、総資産については、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し11,894百万円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、11,102百万円となりました。

純資産については、前連結会計年度末に比べ174百万円増加し791百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ215百万円減少し、1,434百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、410百万円の収入(前連結会計年度は259百万円の収入)となりました。主な収入項目は、減価償却費347百万円、主な支出項目は、契約負債の減少額144百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、620百万円の支出(前連結会計年度は390百万円の支出)となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出499百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5百万円の支出(前連結会計年度は3百万円の支出)となりました。主な支出項目は、リース債務による支出3百万円等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年2月期	2022年8月期	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期
自己資本比率 (%)	3.5	5.0	4.7	5.2	6.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	9.5	11.8	15.7	20.6	19.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	85.2	23.6	33.3	21.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	7.7	13.9	7.6	6.0

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己PBR比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

4. 2022年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについて

は、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

抜本的な経営スキームの改革により、今期で3期連続の黒字を達成いたしました。改革は未だ途上であり、安定した黒字化および利益の増大には更なる改革の推進が必要であると考えております。

今後につきましては、引き続き全社的な既存店舗の再編、グループシナジー効果を活用した各種施策の実行、金・地金買取強化の推進を継続的にこなうとともに、今期は横須賀店地権者の区画を取得し、全区画が当社保有となった事により、年間4千万円超の固定費（賃料）削減を実現、さらに2025年9月30日「株式会社ラウンドワンジャパン」との賃貸借契約を締結し空き区画を賃貸したことにより、賃料収入の増加に加え、百貨店ゾーンとの相乗効果拡大を狙った企画を強化し、収益の拡大に努めてまいります。外商部門におきましても、引き続き高収益商材の販売強化と新規顧客（法人・個人）へのアプローチを強化してまいります。

また、費用面におきましては、ローコストオペレーションの更なる推進を実行し、各種経費の削減と合理化に努め、効果的な経費運用に取り組んでまいります。

以上のことにより、次期の連結業績見通しにつきましては、連結売上高4,800百万円、連結営業利益150百万円、連結経常利益140百万円、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円をそれぞれ見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは日本基準を適用しております。将来のIFRS（国際財務報告基準）の適用について、国内外の動向も踏まえて、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,649,669	1,434,255
売掛金	285,516	276,241
商品	279,897	180,487
販売用不動産	—	141,991
貯蔵品	59,880	68,249
その他	315,207	85,664
流動資産合計	2,590,170	2,186,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,340,615	2,416,479
土地	4,563,475	4,878,557
リース資産（純額）	3,757	289
その他（純額）	78,714	70,476
有形固定資産合計	6,986,562	7,365,802
無形固定資産		
ソフトウェア	39,574	28,666
無形固定資産合計	39,574	28,666
投資その他の資産		
投資有価証券	221,110	288,395
長期貸付金	15,000	15,000
敷金及び保証金	1,392,563	1,383,755
破産更生債権等	12,286	12,286
長期前払費用	499,805	563,322
その他	62,175	62,175
貸倒引当金	△12,270	△12,270
投資その他の資産合計	2,190,671	2,312,665
固定資産合計	9,216,807	9,707,134
資産合計	11,806,978	11,894,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年8月31日)	当連結会計年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	637,577	594,274
1年内返済予定の長期借入金	1,464	8,005,904
未払法人税等	17,855	17,127
賞与引当金	13,987	16,091
契約負債	799,970	655,475
株主優待引当金	—	1,535
その他	277,992	258,986
流動負債合計	1,748,848	9,549,394
固定負債		
長期借入金	8,653,536	647,632
退職給付に係る負債	235,010	219,589
資産除去債務	171,652	270,127
リース債務	317	—
繰延税金負債	—	2,703
その他	380,423	412,587
固定負債合計	9,440,940	1,552,639
負債合計	11,189,788	11,102,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,195,768	2,195,768
資本剰余金	1,887,556	1,860,578
利益剰余金	△3,364,338	△3,227,104
自己株式	△43,348	△43,384
株主資本合計	675,638	785,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△58,447	6,132
その他の包括利益累計額合計	△58,447	6,132
純資産合計	617,190	791,990
負債純資産合計	11,806,978	11,894,024

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,950,143	4,632,926
売上原価	2,392,049	2,337,735
売上総利益	2,558,093	2,295,190
販売費及び一般管理費		
販売費	138,640	119,456
広告宣伝費	151,370	102,524
給料及び手当	691,191	621,180
賞与	26,037	25,838
賞与引当金繰入額	2,490	2,104
退職給付費用	23,938	21,369
その他の人件費	131,060	112,376
地代家賃	400,460	349,387
委託作業費	219,198	194,453
減価償却費	267,182	245,834
株主優待引当金繰入額	—	1,535
その他	395,978	384,358
販売費及び一般管理費合計	2,447,549	2,180,419
営業利益	110,544	114,771
営業外収益		
受取利息	184	1,978
受取配当金	3,415	5,371
受取手数料	1,056	968
ポイント調整費	4,000	4,600
固定資産受贈益	12,040	79,223
その他	4,425	4,160
営業外収益合計	25,121	96,302
営業外費用		
支払利息	34,271	74,618
その他	971	852
営業外費用合計	35,243	75,471
経常利益	100,422	135,602
特別損失		
固定資産除却損	1,679	—
事業構造改善費用	20,281	19,949
特別損失合計	21,961	19,949
税金等調整前当期純利益	78,461	115,652
法人税、住民税及び事業税	5,760	5,397
法人税等合計	5,760	5,397
当期純利益	72,701	110,255
親会社株主に帰属する当期純利益	72,701	110,255

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
当期純利益	72,701	110,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,785	64,580
その他の包括利益合計	△31,785	64,580
包括利益	40,916	174,835
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	40,916	174,835
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,437,039	△43,284	603,000	△26,662	△26,662	576,338
当期変動額								
その他資本剰余金から利益剰余金へ振替								
親会社株主に帰属する当期純利益			72,701		72,701			72,701
自己株式の取得				△64	△64			△64
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						△31,785	△31,785	△31,785
当期変動額合計	—	—	72,701	△64	72,637	△31,785	△31,785	40,851
当期末残高	2,195,768	1,887,556	△3,364,338	△43,348	675,638	△58,447	△58,447	617,190

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他の 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,195,768	1,887,556	△3,364,338	△43,348	675,638	△58,447	△58,447	617,190
当期変動額								
その他資本剰余金から利益剰余金へ振替		△26,977	26,977		—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			110,255		110,255			110,255
自己株式の取得				△35	△35			△35
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						64,580	64,580	64,580
当期変動額合計	—	△26,977	137,233	△35	110,219	64,580	64,580	174,800
当期末残高	2,195,768	1,860,578	△3,227,104	△43,384	785,857	6,132	6,132	791,990

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	78,461	115,652
減価償却費	332,928	347,032
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	1,535
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,490	2,104
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△29,761	△15,421
受取利息及び受取配当金	△3,600	△7,350
支払利息	34,271	74,618
事業構造改善費用	20,281	19,949
固定資産除却損	1,679	—
売上債権の増減額 (△は増加)	145,120	9,275
棚卸資産の増減額 (△は増加)	67,138	△45,951
仕入債務の増減額 (△は減少)	△300,538	△43,303
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△38,904	21,398
未払費用の増減額 (△は減少)	△18,303	△11,160
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	71,736	32,163
契約負債の増減額 (△は減少)	△75,593	△144,495
その他	5,364	121,752
小計	292,770	477,801
利息及び配当金の受取額	3,600	7,092
利息の支払額	△30,967	△68,393
法人税等の支払額	△5,688	△6,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,715	410,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△273,474	△499,340
有形固定資産の売却による収入	—	766
無形固定資産の取得による支出	△35,119	△200
貸付金の回収による収入	137	—
差入保証金の差入による支出	△20,833	△21,658
差入保証金の回収による収入	31,817	30,466
長期前払費用の取得による支出	△93,494	△130,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△390,967	△620,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,814	△3,814
長期借入金の返済による支出	—	△1,464
その他	△64	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,879	△5,314
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△135,130	△215,413
現金及び現金同等物の期首残高	1,784,800	1,649,669
現金及び現金同等物の期末残高	1,649,669	1,434,255

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20—3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65—2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、人件費等の高騰を受け、アスベスト除去費用の再見積りに関する詳細な調査を行った結果、アスベスト除去費用に関する新たな情報を入手したため、資産除去債務の見積りを変更しました。この見積りの変更による増加額95百万を変更前の資産除去債務に加算しております。

なお、この変更は当連結会計年度末に行ったため当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品及びサービスの種類別に事業を展開しており、「百貨店事業」及び「不動産事業」の2つの報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「百貨店事業」は主として衣料品、食品等の販売を行っております。「不動産事業」は保有する物件の賃貸を行っています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表において採用されている会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメント毎の売上高及び利益の金額に関する情報

I 前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結損益 計算書計上額 (注) 2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,950,143	—	4,950,143	—	4,950,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,950,143	—	4,950,143	—	4,950,143
セグメント利益 又は損失(△)	702,554	—	702,554	△592,010	110,544
その他の項目					
減価償却費	173,989	—	173,989	158,939	332,928

(注) 1. セグメント利益の調整額△592,010千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. セグメント資産は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

Ⅱ当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結損益 計算書計上額 (注) 2
	百貨店 事業	不動産 事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	4,623,963	8,963	4,632,926	—	4,632,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,623,963	8,963	4,632,926	—	4,632,926
セグメント利益 又は損失 (△)	666,038	△2,613	663,425	△548,653	114,771
その他の項目					
減価償却費	193,233	—	193,233	153,799	347,032

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△548,653千円は管理部門に係る全社費用の内、各報告セグメントに配賦していない費用等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資源は、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当社は、自主運営ショップの拡大、大型テナント誘致等により、2期連続の黒字を達成しましたが、さらに当連結会計年度より百貨店事業を補完する事業として不動産事業（アパート事業等）を開始、業績管理区分を追加いたしました。

これに伴い、従来「百貨店事業」のみの単一セグメントを、当連結会計年度から「百貨店事業」「不動産事業」の2つのセグメントに変更いたしました。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

2 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

2 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	△25.10円	10.19円
1株当たり当期純利益	14.67円	22.26円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	11.29円	16.65円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	72,701	110,255
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	72,701	110,255
期中平均株式数 (千株)	4,954	4,954

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

当社は、2025年9月17日開催の取締役会において、合資会社石塚商店及び石塚純一郎から固定資産を取得することについて決議し、同日契約を締結、引き渡しが実施されました。

1. 取得の理由

本物件購入により横須賀店は全区画が当社保有となり、年間40百万円超の固定費（賃料）削減を実現、さらには大胆な全館構想の実現で、既にV字回復した業績をさらに上方に押し上げる起爆剤になると判断し、取得いたしました。

2. 取得資産の内容

(1) 所在地

神奈川県横須賀市（さいか屋横須賀店）

(2) 資産内容

土地面積 合計561.99㎡

建物面積 合計3,124.63㎡及び地下駐車場6,046.08㎡の持ち分1万分の1,574

(3) 580,000,000円

3. 今後の見通し

横須賀店全区画を保有することにより戦略意思決定のスピード化及び賃料削減による財務体質の強化を実現、さらには新規テナント「ラウンドワン」招致など、成長分野への投資資金確保で収益力を拡大、2026年8月期業績予想において、営業利益対前年130%を目指しています。

4. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	4,941,815	99.2	4,633,972	97.3	△307,842	93.8
アルファトレンド㈱	37,298	0.8	126,361	2.7	89,063	338.8
㈱さいか屋友の会	619	0.0	1,105	0.0	486	178.5
小 計	4,979,732	100.0	4,761,439	100.0	△218,293	95.6
内部売上高の消去	△29,589	—	△128,512	—	△98,923	—
合 計	4,950,143	—	4,632,926	—	△317,216	—

(2) 店別売上高(単体)

	前連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)		当連結会計年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	2,141,235	52.4	1,732,383	46.8	△408,581	80.9
横須賀店	1,256,290	30.7	1,254,330	33.8	△1,960	99.8
川崎店	692,062	16.9	717,866	19.4	25,803	103.7
小 計	4,089,588	100.0	3,704,580	100.0	△385,008	90.6
テナント及び手数料収入	852,226	—	929,391	—	77,165	—
合 計	4,941,815	—	4,633,972	—	△307,842	—